17章のプロジェクトを作成、実行するには下記のような準備が必要です。

[1] java システムのパスを環境変数に登録する

[2] プロジェクトを作成する際にプロジェクトレイアウトを変更する

[1] java システムのパスを環境変数に登録する

456 頁で次のようにして java コンパイラを起動しています。

c: ¥myspace¥chap17>j avac sampl e/RunTest.j ava

このようにするには Java システムの所在を Windows の環境変数 path に登録しておく必要 があります。以下の手順により、その作業を行ってください。

《環境変数への登録手順》

1. java システムの所在を確認する

java の開発システムである JDK をインストールしたフォルダがどこにあるか、確認してくだ さい。「ダウンロードとセットアップの方法.pdf」では「3.JDK のインストール」で c:¥にイン ストールするよう推奨していますので、この通りにしているならば c:¥java が Java システムの 所在ということになります。

java システムのあるフォルダの中に、bin というフォルダがあります。この中にはコンパイラ や Java バーチャルマシンなどの実行ファイルがあります。これらが Java システムです。環境 変数には、以下の手順で、この bin フォルダの所在を、c:¥java¥bin と指定してください。

なお、独自の場所に JDK をインストールした場合はそのフォルダに読み替えてくさい。

2. コントロールパネルを起動し、以下のようにして環境変数を登録します。

(1) [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] と選択する

 	ントロール パネル ・	
コンピュー	-ターの設定を調整します	表示方法: カテゴリ ▼
	システムとセキュルティ システムとセキュリティ コンピューターの パックアップの作 問題の発見と解決 システムとセキュリティの状態 ネットワークとイ マステムおよびセキュリティの状態 ホームグループと システムとなり、マイルとシステム 遊麦のパックアップと復元、コン システムなどを行います。 パードウェアとサウンド デバイスの追加 プログラム プログラムのアンインストール	ユーザー アカウントと家族のための安全設定 ♥ ユーザー アカウントの追加または削除 ♥ 保護者による制限の設定 デスクトップのカスタマイズ テーマの変更 デスクトップの背景の変更 画面の解像度の調整 時計、言語、および地域 キーボードまたは入力方法の変更 表示言語の変更 コンピューターの簡単操作 設定の提案の表示 視覚ディスプレイの最適化

(2) [システム] を選択する



(3) [システムの詳細設定]を選択する



(4) システム環境変数の中の Path をクリックしてから、[編集] ボタンをクリックする

変数	値		
path	%CommonProgramFiles%¥Microsoft Shared¥Wi		
TEMP	%USERPROFILE%¥AppData¥Local¥Temp		
TMP	%USERPROFILE%¥AppData¥Local¥Temp		
	新規(N)編集(E) 削除(D)		
ステム環境変数(S)	新規(N)」 編集(E)」 削除(D)		
ステム環境変数(S)	新規(N)」 編集(E)」 単序(D) 値		
ステム環境変数(S) - 変数 OS	新規(N) 編集(E) 削除(D) 値 Windows_NT		
ステム環境変数(S) – 変数 OS Path	新規(N) 編集(E) 削除(D) 値 Windows_NT %CommonProgramFiles%¥Microsoft Shared¥Wi		
ステム環境変数(S) – 変数 OS Path PATHEXT	新規(N) 編集(E) 削除(D) 値 Windows_NT <u>%CommonProgramFiles%¥Microsoft Shared¥Wi</u> .COM;EXE;:BAT;:CMD;:VBS;:VBE;:JS;JSE;:WSF;		
ステム環境変数(S) - 変数 OS Path PATHEXT	新規(N) 編集(E) 削除(D 値 Windows_NT %CommonProgramFiles%¥Microsoft Shared¥Wi. 		

(5) パスの変数値欄(下段)で、最初から書いてある記述を消さないように注意して、 末尾に java システムのパスを追加する。

システム変数の編集						
変数名(N):	Path					
変数値(V):	ms¥Ulead Pocket DV Show MCE¥1.0;c:¥java¥bin					
OK OK ++JUL						
; c: ¥j ava¥bi n						

追加するには、区切り文字として、最初にセミコロン(;)を書くことに注意してください。 あとは [OK] ボタンを次々にクリックして、元の画面に戻ると完了です。

[2] プロジェクトレイアウトを変更する

本書 458 頁では、次のようにしてプログラムを実行しています。

c: ¥myspace¥chap17>j ava sampl e/RunTest

このように実行するには、プロジェクトを作成する際に、プロジェクトレイアウトを下記のように指定してください。これにより、java ソースコードとコンパイル済み実行ファイルが同じフォルダに作成されるようになります。

本書の初版作成時は、この設定が規定値で特に設定する必要はなかったのですが、Eclipseの パージョンが新しくなり、変更されたため、必要になりました。

<プロジェクトの作成>

🌲 新規 Java プロジェクト	the second second					
Java プロジェクトの作成						
Java プロジェクトをワークスペースまたは外部ロケ	ーションに作成します。					
$\exists \Box c^* = \Delta h \hat{\mathcal{A}}(\mathbf{D}), \text{ chap 17}$						
☑ デフォルト・ロケーションを使用(D)						
ロケーション(L): C:¥myspace¥chap17			参照(R)			
IRE						
 実行環境 JRE の使用(V): 	JavaSE-1.6		•			
◎ プロジェクト固有の JRE を使用(S):	JRE		~			
◎ デフォルト JRE の使用(A) (現在は 'JRE')			<u>JRE を構成</u>			
プロジェクト・レイアウト						
④プロジェクト・フォルダーをソースおよびク	マラス・ファイルのルートとして使用(U)					
© ソースおよびクラス・ファイルのフォルダー		<u>デフォルトを構成</u>				
ワーキング・セット						
ワーキング・セットにプロジェクトを追加(T)						
ワーキング・セット(0):						
			y			
(?) < 戻る(B) が	R^(N) > 完了(F)		キャンセル			